

文部科学省科学研究費補助金，新学術領域研究  
「先端技術を駆使した HLA 多型・進化・疾病に関する統合的研究」  
(領域略称名：HLA 進化と疾病)

平成 22 年度，第一回研究代表者会議

平成 22 年 8 月 6 日 (金)，9 時－12 時，於：学術総合センター203 会議室

1. 領域代表挨拶 笹月 健彦
2. 文部科学省研究振興局学術研究助成課長挨拶 渡邊 淳平 課長

3. 研究の進め方

- (1) 領域の構成，目標，戦略について 笹月 健彦
- (2) 各計画研究の目標，戦略，5 年間のロードマップ，期待される成果

A01 HLA ゲノムの多様性

猪子 英俊 (東海大学医学部・教授)

「リシーケンシングによる HLA ゲノム多様性解析」(研究分担者)

椎名 隆 (東海大学医学部・講師)

「リシーケンシングによる HLA ゲノム多様性解析」(研究代表者)

今西 規 (産業技術総合研究所バイオメディシナル情報研究センター・研究チーム長)

「リシーケンシングによる HLA ゲノム多様性解析」(研究分担者)

山本 健 (九州大学生体防御医学研究所・准教授)

「HLA 領域非コード RNA 群の多様性と機能解析」

A02 HLA 分子とペプチド

横山 茂之 (理化学研究所生命システム基盤研究領域・領域長)

「HLA クラス I/II の高次構造解析」

西村 泰治 (熊本大学大学院生命科学研究部・教授)

「HLA クラス I/II 分子結合ペプチド・結合モチーフの解析と免疫療法への応用」

宮寺 浩子 (東京大学大学院医学系研究科・助教)

「HLA ヘテロダイマー分子の多様性」

A03 HLA の進化

颯田 葉子 (総合研究大学院大学先導科学研究科・教授)

「HLA と病原菌・ウイルスとの共進化」

## A04 HLA と疾病

徳永 勝士（東京大学大学院医学系研究科・教授）

「HLA 遺伝子群の多様性と疾病解析」

笹月 健彦（九州大学高等研究院・特別主幹教授）

「HLA-DP5-DR53 関連疾病のゲノム・免疫学的解析」

水木 信久（横浜市立大学医学研究科・教授）

「ベーチェット病などの HLA 関連遺伝性眼疾患における疾患特異的な多型の網羅的探索」

森島 泰雄（愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部・研究員）

「GvH 反応と GvL 反応の差を決定する HLA 遺伝子および非 HLA 遺伝子の解明」

平山 令明（東海大学医学部・教授）

「HLA 分子を標的とした in silico 医薬分子探索」

(3) 総合討論

## 4. 事務連絡

(1) 班員名簿確認

(2) 国際シンポジウムについて（平成 24 年 11 月開催予定）

(3) 次回班会議・研究成果発表会について（平成 23 年 1 月，2 月開催予定）

## 5. その他

資料 1：領域計画書（平成 21 年 11 月提出）（26 ページ）

資料 2：審査結果について（文部科学省）（2 ページ）

資料 3：新学術領域研究（研究領域提案型）の運営等について（文部科学省）（6 ページ）

資料 4：文科省研究者使用ルール（補助条件）（平成 22 年度）（文部科学省）（7 ページ）

資料 5：班員名簿（5 ページ）

資料 6：セミナー申請書（4 ページ）